

箕輪町郷土博物館だより

令和3年 春号

はちじゅうはちや 八十八夜



はちじゅうはちや りっしゅん かぞへ はちじゅうはちにちめ ひ ことし
八十八夜は立春から数えて八十八日目にあたる日で、今年は
5月1日（土）です。この日は春から夏に移る境目の日で、箕輪
では「種まき」や「田んぼに水を入れる」といった農業の目安と
なる日でした。また、八十八夜に水神様のお祭りをしたところ
もありました。全国的には八十八夜に摘んだ栄養価の高い新茶
を飲むと、一年間災いが無いともいわれています。



みのわを知ろう

<草餅祭り>

4月になると、天竜川より西側の地域でお祭りをす
る地区が多くあります。松島区にある松島神社では、
かつて4月19日～21日に祭りが行われていまし
た。松島の近隣の村の人達は、この祭りの事を「草餅



祭り」と呼んでいたようです。この頃は、田んぼの

畦などによもぎの新芽が顔を出し、これを摘んで草餅を作るのに丁度いい
時期です。松島の人達は祭りの準備で忙しく、草餅を食べている暇はあり

ませんでした。近隣の人達は、松島神社のお祭りを目安に草餅を作り、

あんこやきな粉をつけて食べました。近隣の人々は松島神社の神様に感謝

し、この祭りを「草餅祭り」と呼んで楽しんだようです。

小川守人著『箕輪の磊々』より



みのわまちきょうどはくぶつかん まいつきいっぴん しんしゅうぞうしりょう てんじ こんかい がつ がつ
箕輪町郷土博物館では、毎月一品ずつ新収蔵資料を展示します。今回は4月から6月
までの展示物を紹介します。この展示は無料で見られますので、是非ご来館ください！



しゅんしやう めおとぎくら ももせたいこ
「春宵(夫婦桜)」 百瀬太虚

なかぞね えが さくひん さくしゅ もも
中曽根のエドヒガンを描いた作品で、作者の百
瀬太虚氏は松本市出身の画家です。画面一杯に描
かれた夜桜が、ほしぞら あい げんそうてき せかい さそ
よざくら ほしぞら あい げんそうてき せかい さそ
うっているようですね。



とのうちけいえん
「富士虹図」 登内景洩

きのしたしゅつしん とのうちけいえん さく
木下出身の登内景洩の作
品です。景洩は明治生まれ
ひん けいえん めいじう
の作家で、自然の風景や昔
さっか しぜん ふうけい むかし
話などを題材にしました。
はなし だいさい
この絵は、ゆきのこ ふじさん、
え ゆきのこ ふじさん
真直ぐに落ちる滝と水しぶ
まっす たき みず
き、すきとお にじ
すきとお にじ
ずしく描かれています。
えが



もけい
「ED19-1模型」

はくぶつかんまえ
博物館前にあるED19-1は、
せかい だい でんき
世界に1台しかない電気
きかんしゃ もけい ほんもの
機関車です。この模型は、本物
の45分の1の大きさに作ら
のぶんのおおにつく
れています。細かい部分も
せいこうにつく
精巧に作られています。



はる はくぶつかん し 春の博物館イベントのお知らせ！！



はくぶつかん 博物館では、しんがた新型コロナウイルスかんせんぼうしだいさく感染防止対策うえをした上で、イベントをかいさい開催する予定よていです！
 なお、しんがた新型コロナウイルスのかんせんじょうきょう感染状況により、ないようとう内容等がへんこう変更になる場合がありまぼあいすので、りょうしょうご了承ください。しょうさい詳細はしんぶん新聞、こうほうしとう広報紙等でお知らせししますので、そちらをらんご覧ください。
 ★どのイベントもさんかむりょう参加無料です。ぜひあそびにきてね★



●たんちうかい探鳥会 5月15日ど（土）ごぜんじ午前6時～ そうしたちゆうしゃじょうしゅうごうながた荘下駐車場集合



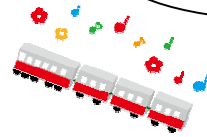
はやお早起きをして、とりかんさつ鳥の観察をしてみよう！どのくらい鳥の名前を
し知ってるかな？



●てんききかんしゃ電気機関車ふれあいデー 6月6日にち（日）ごぜんじ午前9時～午後3時 はくぶつかん博物館にて

せかいいちだい世界に一台しかない「ED19-1」のないぶこうかい内部公開や、ED19-1のもけい模型
 （ぶん45分の1とぶん150分の1）のてんじとう展示等を予定しています！！

**とうじつにようかんむりょう
当日入館無料！**



●みじか身近なしんこうひ信仰碑めぐり 7月4日にち（日）ごぜんじ午前9時

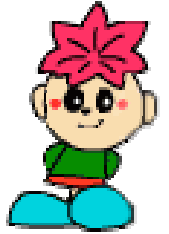


マイクロバスに乗っての町内のちやうない石造物（しんこうひ信仰碑）を巡る予定よていです。

じぜんもうしこみせい事前申込制でていじんせい定員制ですので、しょうさい詳細はしんぶん新聞、こうほうし広報紙をらんご覧ください。

こんかい今回は、ばとうかんのん馬頭観音、じそうぼさつ地藏菩薩などを巡めぐります。

箕輪学クイズに挑戦！！



(1) 箕輪の赤そばの品種はなんでしょう？

- ① 信濃一号 ② 高嶺ルビー ③ 高嶺の花



(2) 小正月に大出上村地区と北小河内漆戸地区で建てられる「大文字」の読み方は？

- ① おおもんじ ② だいもんじ ③ でえもんじ



北小河内漆戸の大文字



(3) 箕輪の方言で「ごうがわく」とってどういう意味？

- ① 腹が立つ ② お湯がわく ③ ドラえもののジャイアン

(4) 昭和時代の前半に活躍した箕輪町出身の探偵作家は？

- ① 藤沢頼親 ② 大下宇陀児 ③ 登内景洩



○ こたえ ○

(1) ② 毎年9月下旬～10月上旬にかけて、上古田区にある「赤そばの里」には4.2haに渡って赤そばの花が咲き、多くの人で賑わいます。

(2) ③ 「だいもんじ」がなまったのではないとも言われています。

(3) ① 「腹が立つ」ことを「ごうがわく」といいます。

(4) ② 第二代日本探偵作家クラブ会長も務めました。(初代は江戸川乱歩)



大下宇陀児(左)と江戸川乱歩(右)

博物館では、所蔵する大下宇陀児の作品(コピー)を全部読むことができます！ どんな物語なのか、是非読んでみてください。閲覧は無料です♪

お問い合わせは、博物館まで Tel 79-4860

発行元：箕輪町郷土博物館